

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 129	提案機関名 神奈川県漁業士会
要望問題名 磯焼け対策について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 神奈川県下の各浜で、藻食性の魚類アイゴやメジナ、ムラサキウニやガンガゼ等のウニ類の食害により磯焼けを引き起こしている。磯焼けにより、水産重要種であるアワビやサザエ等の貝類の餌となるアラメやカジメ等の海藻が枯渇し、貝類の生育や繁殖を妨げる要因となっており、この対策の検討が急務となっている。 また、11月から12月にかけては、種挿した養殖ワカメの種苗が、アイゴやボラ等により食害され、甚大な被害を被っており、その規模も増加傾向にある。 つきましては、①上記藻食性魚類や動物の効率的な駆除方法、②アラメ、カジメ、ワカメ等の増殖手法、③養殖ワカメの食害対策等について、指導して頂くと共に、磯焼け状況の潜水調査等でご協力お願いいたします。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備 考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。(提案者は記載不要)

回答機関名	水産技術センター	担当部所	栽培推進部・ 企画資源部普及指導担当
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	水産技術センターでは、全国の事例について情報収集し、全国漁港漁場協会が作成した磯焼け対策ガイドラインに沿って効果を上げた優良事例に学びながら、本県各地先の状況に合った磯焼け対策の方法を提示できるよう検討を進めます。 また漁業者等が実施する磯焼け対策が効果を発揮するように、現場での技術的支援を行います。この一環として磯焼けの実態調査を実施していますのでご協力をお願いします。		
解決予定年限	①□1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備 考	解決予定年限は、当センターの対策検討にかかる年限です		